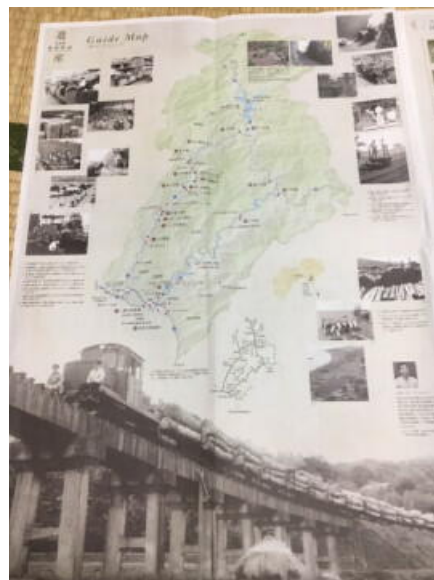


## 5月のお代官様～ゆずとりんてつ

「森林鉄道から日本一のゆずロードへ～ゆずが香り彩る南国土佐・中芸地域(奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)の景観と食文化」このストーリーが文化庁より、日本遺産として認定されました。



令和になって、馬路を訪問。銘木・魚梁瀬杉の木材搬出のために引いた森林鉄道の遺産を数年前にたどりました。今回も、馬路観光の一環として魚梁瀬丸山公園で森林鉄道に体験乗車。ボランティアガイドさんのお勧めで、前回と違うルートで遺産をたどることになりました。

1.五味隧道:36mのトンネル。ふるさとセンター「まかいちよって家」の対岸に位置し、かつて軌道上に機関車を展示していたとか。



2.河口隧道:90mのトンネル。この中でコンサートが開かれることがあるそうで、歌えばエコーが効いて歌手気分になります。現在村道として使用、撮影してたら軽トラックが出てきてびっくりしました。



3.堀ヶ生橋:47mの鉄筋コンクリートアーチ橋。鉄筋と言っても線路として使用するレールが入っているようですが、フォルムが美しく、河川敷に降りて見上げました。



4.二股橋:47mの無筋コンクリート橋。スパン20mの2径間。解説によると、アーチ橋と石積が見せる造形美が山と清流の風景に映える。けど、無筋ってのが凄い。





5.小島橋:橋長143mの鋼橋。取合がガーダー、河川上がトラス仕様で、現存する遺構の中で最も大きなもの。歩行者と軽自動車のみが通れる。ガイドさんお気に入り、軽自動車で来たならクルマごと渡ってスリルを楽しもうと提示。確かにギリギリですが、無事にクリアできました。



6.立岡二号栈道:目測70m、10径間・3主桁のコンクリート橋。田んぼの真ん中に、取合軌道部分と栈道が残っている状況。橋面は草ボーボー。撮影していたら、地元の住民から不審に思われたようです。



7.法恩寺跨線橋:石造アーチの軌道をまたぐ跨線橋。急な階段を登ると怪力自慢さんがお迎え、お寺の境内に出ます。探すのに苦労しましたが、見れば見るほど可愛い構造物です。



今回は、魚梁瀬から奈半利川沿いをたどってみました。安田川沿いも含めて価値ある土木遺産が並んでいますので、馬路村観光の一環として参考にして下さい。これを読んで行きたくなったら、「まかいちよって家」でガイドマップを買って日本一のゆずロードをたどってみましょう。

令和元年5月11日記